

一般社団法人

モビリティ・イノベーション・アライアンス

我が国では人口減・偏在、エネルギー問題、気候変動・災害激甚化等の課題がある中で、自動運転をはじめとする新たなモビリティの社会実装や多様なデータ連携・活用の実現を通して、生産性の向上、新産業創出、国際競争力の強化、人々の日々の生活における幸せの実現が求められています。

一般社団法人モビリティ・イノベーション・アライアンス（英語名：Mobility Innovation Alliance Japan）は、内閣府・戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期「自動運転（システムとサービスの拡張）」の取組みの一環として行われた、23大学の学術関係者と公的研究機関等の連携体である「モビリティ・イノベーション連絡会議」の活動を引継ぎ、『移動の革新に関する技術開発や社会実装を起動する会員主導の団体』となることを目指して設立されました。

2022年7月の設立以来、SIP-adusのレガシーを承継する国際ワークショップ企画・運営や自動運転をはじめとする新たなモビリティをテーマとした学生ビジネスプランコンテスト（M-BIC）の開催、現地研究会の実施など、会員とともに、多様な活動を展開しています。

<活動内容>

 文理融合の学術ネットワーク承継・発展

 分野横断型政策や取り組みを検討・提案

 多様な産官学連携機会を生み出すワンストップ窓口

 国際会議の企画・運営を通じた国際連携研究の促進

 研究・技術開発を社会の行動変容へつなげる広報活動等

 若手人材の育成を狙いとしたコンテスト等の開催

◆活動報告会・交流会の開催

文理融合の学術ネットワークの構築・発展、及び分野横断の総合知を高める活動として、活動報告会・交流会を開催しています。2023年5月の活動報告会では、SIP-adus サブプログラムディレクターを務められた、政策研究大学院大学の有本客員教授、及び SIP 第3期「スマートモビリティプラットフォームの構築」プログラムディレクターの筑波大学の石田名誉教授より、特別講演をいただくとともに、



ともに、会員の神奈川工科大学の井上特任教授、多摩大学の樋笠専任講師、広島大学の藤原教授からの話題提供と共に、事務局より2022年度活動内容及び2023年度事業計画の報告が行われました。

※ 2022年度活動報告書（概要版）：

https://mobilityinnovationalliance.org/wp-content/uploads/2023/06/FY2022_activity_reportsummary-l.pdf

◆ Mobility Innovation Week Japan の企画・運営

SIP-adus において構築された国際連携ネットワークをレガシーとして承継し、また自動運転以外の分野における連携へと拡張すべく、2022年まで9年間にわたり継続された SIP-adus Workshop を継承する「mobility Innovation Workshop」を中心に、複数の関連する国際会議、技術ツアー等の機会を提供する「Mobility Innovation Week Japan」を企画・運営しています。2023年11月に開催した Mobility Innovation Workshop 2023 には海外からの参加者59名を含む、合計148名の専門家・関係者が参加し、安全性評価等の技術領域のみならず、社会受容性、ビジネスモデル等の非技術領域の議論・交流が数多く交わされました。また、現地視察等を通して日本の取り組みについて共有を図るとともに、専門家同士のネットワークの維持・拡大の機会を設けることができました。



◆ 現地研究会の実施

多様な産学官連携機会を生み出していく活動の一環として現地研究会を開催しています。2023年8月には、北海道上士幌町及び更別村における自動運転バス運行サービス、ドローン運送サービス等について、現地で視察・試乗等を行いました。また、現地関係者との意見交換を行うことで、技術面、事業面、社会面等における成果及び課題について理解を深めるとともに、今後、モビリティ・イノベーションの社会実装に向け必要な研究等について参加会員による議論を行いました。

※ 第1回現地研究会報告書（概要版）：
https://mobilityinnovationalliance.org/wp-content/uploads/2023/08/2023-0058_genchi_kenkyukaisummary.pdf



◆ 学生ビジネスプランコンテスト（M-BIC）の企画・運営



新たなモビリティに関わる若手人材の育成を目的とした「モビリティを活用したビジネス・イノベーション・コンテスト」（M-BIC）を2022年から開催しています。第2回となるM-BIC2023は、東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構と名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会研究所の共催、内閣府及びデジタル庁の後援、9社の企業協賛を得て開催しました。書類選考を通過した全国12校の大学・大学院・高専から集まった14チームの学生が、協賛企業や協力省庁の方々にもご参加いただいたワークショップや自動運転モビリティの試乗を通して、約3か月に渡る議論によりアイデアを共に深め、競い合う「共創型コンテスト」に挑みました。

※ M-BIC 公式ウェブサイト：<https://m-bic.jp.org/2023/>



◆ 研究開発事業の受託

新モビリティに関する政策、施策への分野横断型の提言に向け、また、多様な産学官連携機会を生み出すワンストップ窓口としての活動を図るため、本法人は東京大学モビリティ・イノベーション連携機構と共に、2023年度に開始された戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第3期事業の下、「スマートモビリティプラットフォームの構築に向けた国際的な研究連携・対外情報発信活動」を受託・実施しています。本事業において、わが国におけるモビリティサービスの再定義と社会実装に向けた戦略策定、インフラのり・デザインに向けた研究開発、安全、快適、活気あふれる交通インフラ技術の開発、モビリティサービスを支えるデータ基盤構築等に向け、それぞれの実施主体と共に、国際的な研究連携を促進していく計画です。

<法人概要>

設立日：2022年7月1日

所在地：〒153-8505 東京都目黒区駒場 4-6-1 東京大学生産技術研究所 Cw501

理事長：天野 肇（前 ITS Japan 専務理事、元東京大学客員教授）

副理事長：須田 義大（東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構 機構長、東京大学生産技術研究所 教授）

理事（五十音順）：

内村 孝彦（東京大学生産技術研究所 特任研究員、前 ITS Japan 常務理事）

大口 敬（東京大学生産技術研究所次世代モビリティ研究センター センター長、東京大学生産技術研究所 教授）

三好 博昭（同志社大学政策学部 教授）

森川 高行（名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会研究所 教授）

賛助会員：33 会員（学術会員：23 会員、特別会員：7 会員、行政・事業者団体等会員：3 会員）

学術会員（所属組織）

岩手県立大学ソフトウェア情報学部、大阪大学大学院工学研究科環境エネルギー工学専攻、神奈川工科大学研究推進機構、北見工業大学工学部情報通信系、京都先端科学大学オープンイノベーションセンター・亀岡、慶應義塾大学モビリティカルチャー研究センター、埼玉工業大学自動運転技術開発センター、多摩大学経営情報学部、筑波大学システム情報系社会工学域、電気通信大学先端ワイヤレス・コミュニケーション研究センター、東京工業大学工学院機械系、東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構、東京都市大学理工学部機械工学科、同志社大学政策学部、同志社大学モビリティ研究センター、名古屋大学大学院情報学研究科附属組込みシステム研究センター、名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会研究所、日本大学生産工学部自動車工学リサーチ・センター、広島大学 IDEC 国際連携機構、福岡大学工学部電子情報工学科、法政大学社会学部、横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院、理化学研究所・革新知能統合研究センター

特別会員（所属組織）

アバナード株式会社、イーブイ愛知株式会社、弁護士法人内田・鮫島法律事務所、株式会社コングレ、scheme verge 株式会社、BOLDLY 株式会社、株式会社三菱総合研究所

行政・事業者団体等会員（所属組織）

特定非営利活動法人 ITS Japan、柏市、和光市



公式ウェブサイト：<https://www.mobilityinnovationalliance.org/>

<会員募集>

（一社）モビリティ・イノベーション・アライアンスでは、取り組み主旨に賛同し、協力いただける賛助会員を募集しています。入会希望の方は下記会員規則をご確認のうえ、事務局までご連絡をお願いします。

会員規則：<https://mobilityinnovationalliance.org/member-reg>

会費規程：https://mobilityinnovationalliance.org/membership_fee

<連絡先>

一般社団法人モビリティ・イノベーション・アライアンス事務局

E-mail: miaj-sec@its.iis.u-tokyo.ac.jp